

# Wonderful My City!

地形、交通、歴史、文化…… 青森の全て!

龍飛崎

津軽海峡から見ると、津軽半島最先端の竜飛崎。手前の岩場（写真中央右下）は岩島で、その陸側にあるのが龍飛魚港。龍飛崎は中期中新世の火山岩（龍飛安山岩質）からなる。写真中央右の崖には、日本唯一の断層国道（33号線）がある。写真中央（駐車場左）は青函トンネル本州側の工事基地跡で、現在は青函トンネル博物館。斜坑も見学できる。この辺の地下は青函トンネルが走っている。

青森の全て!

十和田湖

青森県と秋田県にまたがる十和田湖。北西から望む。標高約400mに位置し、面積は1.1km<sup>2</sup>。約20万年前に始まった十和田火山の活動は、約4万3000~1万3000年前に大規模噴火を数回起こし、約1万5000年前には最大径11kmの第一カルデラが誕生。ここに雨水がたまつたのが十和田湖の始まりだ。約6000年前の水蒸気爆発で新たなカルデラが生まれ、それが中湖（写真右奥）となった。奥入瀬渓流は、写真左奥あたりを流れている。

十三湖

津軽平野の十三湖を東側から見る。十三湖は南北約7km、東西約4kmで、周囲約31.4km。青森県では3番目に大きい湖だ。海岸線の一部が海となりた汽水湖で、ヤマトシジミが生息する。十三湖は約7000年前、龍飞溝溢（海水面の上昇）により塩分の高い海水が形成されたことによる。その後の海水面低下、河川流入による土砂の堆積で水深が浅くなり、約1000年前、汽水環境が成立したと考えられている。

青森空港

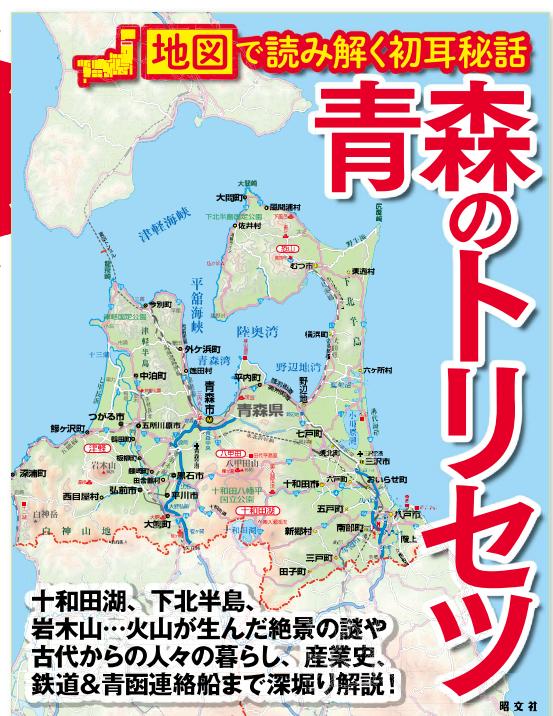
西側から見ると青森空港。ハイロードいわく「西風の強い空港」で、標高約200mの山腹を切り開いて1964（昭和39）年に開港。当時は写真左奥の斜面に写る駐機場が滑走路（1200m）だったが、延伸を重ねたうえに1987（昭和62）年には空接地に新規（滑走路は2000mにまで延伸）。その後も改修を重ね、滑走路は3000mにまで延伸した。右下を走るものは、浪岡川支流の王余久沢（かれいざわ）川に建設された浪岡（なみおか）ダム。



日本の各県の地形や地質、歴史、文化、産業など多彩な特長と魅力を、地図を読み解きながら紹介するマップエンターテインメントシリーズ。

待望の青森です。  
行って確かめてみたくなる情報が満載！

2021年  
9月中旬  
発売予定



裏面の注文書でご発注ください



昭文社

# 大地の記憶と歴史を図解で知る! 青森のエッセンスを詰めた一冊

# Part 1 地図で読み解く青森の大地

津軽富士と称される美しい岩木山は  
荒々しい火山地形を残す活火山



# Part 3 青森で動いた歴史の瞬間

豊かな自然のもとで生まれ  
1万年にわたり続いた縄文文化



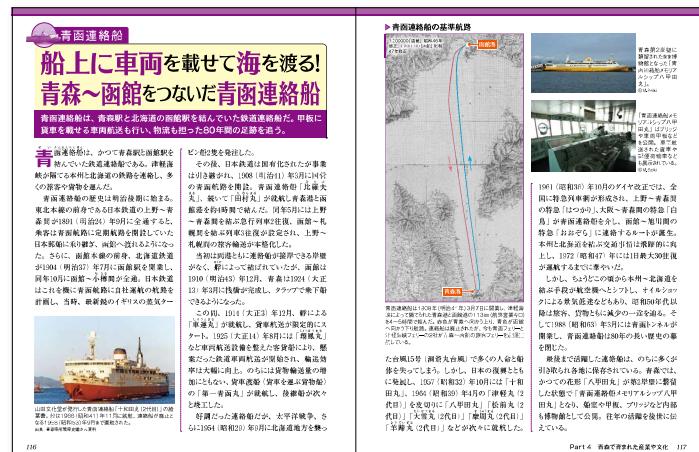
# Part 2 青森を駆け抜ける鉄道網

## 冬は石炭焼きのストーブ列車！ ローカル私鉄・津軽鉄道の魅力



## Part A 青森で育まれた産業や文化

船上に車両を載せて海を渡る！  
青森～函館をつないだ青函連絡船



**誌面より一部抜粋** ※表紙と誌面は製作途中のものです。

商品名	ご注文数	貴社番線印
<b>青森のトリセツ</b> 定価：1980 円（税込） ISBN9784398148377 株式会社昭文社 営業部 FAX 03-5625-4179 TEL:03-5625-4167		部 ご注文日： 年 月 日